



今井大吉氏（左）と古榊博明氏（右）

2月11日はサンアリーナで生涯学習フェスティバルが開催されました。今年も様々な方の表彰が執り行われ、水引地区からは社会教育功労者として生涯学習振興部会長の古榊博明氏と、環境美化功労・個人の部で湯ノ浦中自治会から今井大吉氏が表彰されました。



太極拳の合同演舞

第18回薩摩川内市生涯学習フェスティバル



（こども園4歳児）



（こども園5歳児）



（小学1・2年生）



2月24日～3月3日の9日間に渡り開催されましたひな祭りスタンプラリーは、大成功のうちにはフィナーレを迎えることができました。外来者からも絶賛の評価をいただき、来年もさらにパワーアップしたひな祭りを行いたいと企画しております。



ひな祭りスタンプラリー
おかげさまで来場者数
千人超えを達成しました



りなのです。

射勝（いすぐる）神社、次郎次郎踊りは江戸時代から伝わる無言劇で、見物人を田んぼの害虫に見立てて、火のついた棒（トツゴロ）を使って追い回します。この次郎次郎踊りは「スグロドン祭り」とも呼ばれ、「スグロ」は射勝のことで、子宝で締めるユーモラスな即興劇は、豊作祈願とともに安産祈願の祭

200人余りの観客で賑わう 4年ぶりの次郎次郎踊り



日本三大川あらしシーズンオフ宣言

晩秋から冬にかけて河口から大量の霧が流れ出る川あらしのシーズンオフを宣言するイベント「霧のフェスタ」が2月25日、愛媛県の大洲市で行われました。川内川、肱川（愛媛県）、円山川（兵庫県）で現れる日本三大川あらしを盛り上げるため、各地の団体メンバーが今季を振り返り、さらなる魅力発信へ力を込めました。（愛媛新聞より記事抜粋）

川内川代表として、当コミ協会長中村氏、気象予報士今村氏（川内川あらし協議会会長）、川内市踊り太鼓の皆さんが参加されました。



地区住民の安全を担う

新青パト隊員のお知らせ

青パトの隊員に入れ替わりがありましたのでお知らせ致します。昨年の夏まで水引地区の為に精力的に活動された、故別府俊明さんに代わる現・草道上自治会長の西弘記さんと、この度勇退される東大蘭隆さんからの引き継ぎになりました、現・西上手自治会長の永園浩樹さんのお二人です。

水引地区の安全を願って活動されるので皆様もご協力の程、よろしくお願い致します。

尚、東大蘭様には今まで見守りいただき、誠にありがとうございました。大変お疲れ様でございました。



2月17日の良く晴れた日に、川内クリーンセンターグランドゴルフ場では、女団連によるG・G大会が開催されました。皆さん、いきいきとボールを追いかけて、寒さに負けない体力作りに、勤しんだようです。



寒さなんかには負けないぞ

おー!!



コミセン窓から

タケタケタケタケダー、タケダータケダーのCMが流れると胸躍る30分の合図だった。ウルトラマンをリアルタイムで観ていた筆者は、テレビっ子第一世代といっても構わないだろう。当時標準語と言われた共通語をブラウン管越しに覚え、ご年配と接する機会が薄れたことで、地元の方言を置き去りにしてしまった。

鹿児島弁はインパクトが強烈で、土地を長く離れるほどに妙に方言が愛しくなる故、もっと色々な方言を覚えておくべきだったと残念になる。そんな時にさつま狂句はありがたい。心の底から笑える。地元言葉で後世に繋げる水引狂句の自主教室はできないものかと考えてみる。（大迫）



さつま狂句 網津いきいきクラブ 吉村伝波氏作